

2026年1月14日発信

アライオークション総合機械

「初セリオークション」結果報告

アライオークション総合機械は、1月13日(火)に「初セリオークション」を開催いたしました。新年のスタートに合わせて会場でセレモニーを行い、会員の皆さんと一緒に新しい門出を祝うひとときとなりました。

■新年のご挨拶 弊社取締役 オークションカンパニー長 尾籠厚

「昨年の総合機械オークションでは、79,149台のご出品をいただき、主要商材である建設機械、農業機械、フォークリフトの取引は前年比107%と拡大いたしました。背景といたしましては、建設機械の新車価格の高騰や、納期長期化により中古機械需要が高まっております。農業機械では、米価上昇に伴う農機の入れ替えが進んだことで中古機械の流通量が増えております。またフォークリフトにつきましても、エンジン式中古車の海外需要が根強く、輸出面でもオークションが重要な役割を担っております。

2026年は会員の皆様の利便性を高めるべく、総合機械オークションをさらに進化させてまいります。各商材の特性を活かした運営を進めると共に、今春にはフォークリフト専用駐車場を開設する予定です。主要商材と関連性の高い、周辺機器につきましても、より特徴を打ち出す取り組みをしてまいります。」と挨拶しました。

■オークション状況

当日は、出品台数1,689台、成約率71.9%となりました。また、ディーラー特設コーナーでは、全会場、成約率100%と成約率をけん引いたしました。

■総合機械 1月開催スケジュール

- 1月13日 アライオークション総合機械
- 1月20日 アライオークション総合機械
- 1月27日 アライオークション総合機械

■本年の抱負 建機・FL・農機オークション統括マネージャー 日向 康幸

建機・FL・農機の営業統括マネージャーより、本年の取り組みについてコメントをいただきました。

「2026年のテーマは『オークション情報DX化によるグローバル・プラットフォームへの進化』。昨年は出品情報に動画や音声を導入し、より詳細な状態を確認できる環境を整備いたしました。出品車両の稼働動画や詳細情報をAI-NETで開示することで、物理的な制約を超えた取引機会を創出し、国内外のバイヤー様が安心して応札できる環境整備に取り組んでまいりました。昨年の実績は出品台数前年比107%の79,149台となり、おかげさまで前年を上回る実績を記録することができました。今後も利用する会員皆さまの声をDX化のサービスで応えてまいります。

今春には、小山会場フォークリフト専用駐車場が開場いたします。総合機械小山会場全体のキャパシ

ティを拡張し、出品展示の構成をリニューアルいたします。台数増加により課題であった搬出入動線や展示スペースを改善し会場の安全管理に努めます。2026年もアライオークション総合機械は建機、農機、フォークリフトの中古流通を日本唯一『毎週開催』で会員の皆様の利便性向上に努めてまいります。」



(左から) 総合機械小山会場 副会場長 池田 吉徹、会場長 内藤 崇史、オークションカンパニー長 尾籠 厚、建機・FL・農機オークション統括マネージャー 日向 康幸

<総合機械開催に関するお問い合わせ>

アライオークション総合機械小山会場
栃木県小山市神鳥谷 2259-9
電話番号 : 0285-39-8818

<本件に関する取材申し込み・お問い合わせ>

荒井商事株式会社 企画本部
電話番号 : 03-5204-2520
ホームページ : <https://www.araiiaa.jp/1p/>

